
神威伝

西園寺

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

神威伝

【Nコード】

N9162C

【作者名】

西園寺

【あらすじ】

20XX年中東で起きた戦争を発端とし、世界中に戦火が広がった。この戦争は兵器などよりも遥かに強大な力が動いているという。神の力、『神威』。世界が神威により大きく動き始める。そして、それと同時に動き出す人。世界はどうなるのか。全ては神のみぞ知っているのかもしれない。

ブローグ

太平洋が光に包まれた。

私は今その目でその光を見ている。何がおこっているのか。そんな事は不思議と気にならない。光に魅了されているのだろう。

「…りよう。…とうりよう。」

次の瞬間光が消えた。一瞬にして深い闇が辺りを包む。底知れぬ恐怖が私を襲ってきた。

「大統領。ご返事を」

ハッ、とした。私は西海岸沿いの別荘から海を眺めていたのだ。

私は声に答えた。

「どうした」

「ご無事でしたか。先程の太平洋を包んだ光は一体…」

声の主は西海岸防衛のための海軍兵。明らかに声は動揺している。

「うむ。自然現象とは思えぬ見たことのない光。あの方向にあるのは…日本か…。調査隊を向かわせる」

「はっ」

私は大統領なのだ。

かつてはアメリカと呼ばれていた国。

今はビッグノースと呼ばれている。

全ては中東で勃発したあの戦争。すぐさまそれは全世界に広がった。第三次世界大戦。多くの国が崩壊し、戦前と比べ世界は大きな変貌

を遂げた。ビッグノースもその結果なのだ。核などをはるかに凌駕する力が存在しているらしい。一般に『神威』と呼ばれているそうだ。人間技とは思えぬ力。真実はわからぬ。

「大統領、大統領」

その声は明らかに普通ではない。何かに恐怖している。

「どうした。何があった」

私は足許から頭の先まで恐怖が走るのを感じた。

「映像を送ります。ご確認を。」

映像が送られてきた。映像を開く手は震えていた。カチッ。開かれた。そこに写るのは信じ難い映像だった。

「これが神威…か。」

そうとしか出てこなかった。

そこにあるはずの四つの島からなる国が跡形もなく消えていた。海とつながるかのように海面から突き出た富士山を除いて。

「これは序章にすぎない。」

私にはそうとしか思えなかった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9162c/>

神威伝

2011年1月20日01時38分発行